

市民活動促進基本計画 計画目標の達成状況評価表(案)

大項目	大項目設定の理由	該当する基本施策	番号	小項目	単位	値			市民活動推進課等事業主体による評価及び特記事項	市民活動推進委員会の評価(市民活動を活性化するという観点からの意見)	
						24年度	25年度	26年度		目標の達成状況の評価	事業の実施状況評価
ア)市と外部団体等の協働等の実施状況 ※大項目の「ア～キ」「新」は、これまでの進捗管理の項目に対応。	市の実施事業に外部機関・団体がどの程度関与しているか、外部団体等が求める側面支援に対しどの程度市が対応しているかを把握することで、多様な担い手と連携・協働ができたかどうかの指標とする	基本施策4:課題解決のための「連携と協働」の推進	1	協働等の実施部署	課	24	24	26	100程度の協働等の事業を実施し、補助金の交付や人的支援、恒例イベントを実行委員会形式で実施するなど多様な形態がある／事業の実施形態は、「委託」と「補助・助成」で全体の7割を超えている／「子どもの健全育成」「保健・医療・福祉の増進」「環境保全」「学術・文化・芸術・スポーツの振興」の事業分野で全体の6割を超えている／新規事業、従来の事業を市民活動団体等と実施したもの、活動団体や個人を育成しようとする事業もある／以前から同じ方法で実施している事業でも、平成26年度分調査で初めて回答された事業が5事業ある。そのため、事業数の増が協働の進展であるとは言い切れない	※主に、小項目番号3～6の値をもとに記入してください	※主に、小項目番号1～4の値をもとに記入してください
			2	事業実施数	事業	98	94	105			
			3	協働等の相手(延べ)	団体	274	284	314			
			4	新規協働等の相手(内数)	団体	41	45	45			
			5	市及び市財援団体以外の主催事業の市報記事数	件						
			6	市の後援名義の使用事業数	件	108	125	124			
イ)武蔵野プレイス市民活動フロア利用状況	市の市民活動の拠点たる同フロアの利用状況を把握することで、市民活動団体の活動状況や活動が活性化したかの指標とする	基本施策2:市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実 基本施策3:市民活動の場の活用促進	7	登録市民活動団体数	団体	270	326	368	平成22年度の市民協働サロン登録団体数は335	※主に、小項目番号7～13の値をもとに記入してください	※武蔵野プレイス事業全般について記入してください
			8	新規登録団体(内数)	団体	61	56	42			
			9	相談件数	件	83	32	29			
			10	フロア利用者数	団体	808	925	1,038			
			11	ワークラウンジポスター掲示件数	件		258	336			
			12	チラシ設置件数	件		316	401			
			13	貸出施設平均利用率	%	65.3	69.2	69.0			
新)ボランティアセンター武蔵野活動状況	ボランティアセンター武蔵野におけるボランティア登録等の状況により、市民がどの程度関心を持ちボランティア等の活動をしているかの指標とする	基本施策1:市民活動の裾野の拡大	14	活動会員登録数(個人)	人					※主に、小項目番号14～16の値をもとに記入してください	※ボラセン事業全般について記入してください
			15	活動会員登録数(団体)	団体						
			16	ボランティア依頼受付件数	件						
新)コミュニティセンターの利用状況	コミセンの利用状況を把握することで、コミセンという地域資源の活用状況や地域における自主的な活動が活性化したかの指標とする	基本施策3:市民活動の場の活用促進	17	17コミセン貸出施設平均利用率	%				北ホールは除く	※主に、小項目番号17の値をもとに記入してください	※コミセン事業全般について記入してください
ウ)NPO法人数	市内に主たる事務所を置くNPO法人数により、市民活動が活性化したかどうか、また団体の自立が進んだかどうかの指標とする	基本施策2:市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実	18	市内に主たる事務所を置く法人数	法人	88	94	97		※主に、小項目番号18～19の値をもとに記入してください	※市内のNPO法人の活動全般について記入してください
			19	市内に主たる事務所を置く認定NPO法人数(内数)	法人	1	1	5			
エ)武蔵野市NPO補助金事業実施状況	市が補助金を交付した事業が、どの程度市民に関心を持たれ、法人の公益性を発揮できたのかの指標とする	基本施策2:市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実	20	補助対象事業	事業	16	15	14	平成24年度の受益者数が多いのは、補助対象とした広報誌発行事業において「印刷物発行数＝受益者数」としたことによる／平成25・26年度補助対象事業には、広報誌発行事業はない	※主に、小項目番号20～23の値をもとに記入してください	※NPO法人に対する市の補助・助成制度全般について記入してください
			21	一般向け事業	事業	14	12	12			
			22	受益者数	人	13,553	2,317	2,322			
			23	(申請事業)	事業	17	18	16			

市民活動促進基本計画 計画目標の達成状況評価表(案)

大項目	大項目設定の理由	該当する基本施策	番号	小項目	単位	値			市民活動推進課等事業主体による評価及び特記事項	市民活動推進委員会の評価(市民活動を活性化するという観点からの意見)	
						24年度	25年度	26年度		目標の達成状況の評価	事業の実施状況評価
新)武蔵野市民社会福祉協議会ボランティア・地域活動助成事業実施状況	市民社会福祉協議会による支援が、どの程度団体活動の活性化につながったのかというこの指標とする	基本施策2:市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実	24	補助対象事業	事業	34	35	39		※主に、小項目番号24～27の値をもとに記入してください	※市民社協登録団体の活動全般について記入してください
			25	一般向け事業	事業	20	22	27			
			26	会員向け事業(当事者団体の事業)	事業	14	13	12			
			27	(申請事業)	事業						
オ)フェイスブック閲覧状況	市民活動関連情報を告知する「フェイスブック」の閲覧状況により、情報がどの程度市民に届き、関心を持たれているかの指標とする	基本施策1:市民活動の裾野の拡大 基本施策2:市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実	28	市民活動かわら版「いいね」数		0	122	211	平成25年度事業開始のため、平成24年度の値は「0」となっている	※主に、小項目番号28～29の値をもとに記入してください	※市のFB等活用状況全般について記入してください
			29	プレイスFB「いいね」数		0	224	633			
カ)市民活動促進事業の到達度・効果	当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化にどの程度意義があったのかどうかの指標とする	基本施策1:市民活動の裾野の拡大 基本施策2:市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実	30	参加者数	人	550	345	345	平成24年度の定員充足率が高いのは、カフェ形式の事業実施による／平成24年度は、講座事業は5割程度の参加ものもあり事業間の差が大きい	※主に、小項目番号33の値をもとに記入してください	※主に、小項目番号30～32の値をもとに記入してください
			31	(事業数)		8	5	4			
			32	定員充足率	%	165.4	31.3	51.9			
			33	満足度・お役立ち度	%	67.5	84.8	81.4			
キ)武蔵野プレイス市民活動支援事業の到達度・効果	当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化にどの程度意義があったのかどうかの指標とする	基本施策1:市民活動の裾野の拡大 基本施策2:市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実 基本施策3:市民活動の場の活用促進	34	参加者数	人・団体	229	429	544	事業数の増加に伴い、参加者数も増加している／定員充足率は順調に増加している／8割以上の参加者が満足している	※主に、小項目番号37の値をもとに記入してください	※主に、小項目番号34～36の値をもとに記入してください
			35	(事業数)		12	21	22			
			36	定員充足率	%	53.4	63.4	73.7			
			37	満足度・お役立ち度	%	81.0	84.0	86.7			
新)ボランティアセンター武蔵野事業実施状況	当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化につながっているのかの指標とする	基本施策1:市民活動の裾野の拡大	38	参加者数	人・団体					※ボラセン事業による市民への影響等について記入してください	※主に、小項目番号38～39の値をもとに記入してください
			39	(事業数)				15			

※施策の目標は次のとおり

【基本施策1】

市民活動に対する関心を高める
市民活動への参加の多様性を深める
市民活動の幅を広げ多様な活動展開へつなげる

【基本施策2】

活動の活性化と団体の自律・自立
市民活動を進める中で発生する様々な課題解決を支援
団体の活動意欲や実践力の向上、組織の安定化
団体の相互交流による活動の活性化を促す

【基本施策3】

多様で自由な市民活動を「場所」という側面からサポート

【基本施策4】

多様な取り組みの担い手による連携と協働を推進
協働のルール明確化と職員の理解促進

※市民活動推進委員会による評価は次のとおり

【目標の達成状況の評価】行政等の行ったことから生じた、市民・市民活動団体等の動き(市民・市民活動団体等への効果)に対する評価

【事業の実施状況評価】行政等の動き、どれだけ事業を実施したかに対する評価

市民活動促進基本計画 計画目標の達成状況評価表(案)

該当する基本施策及び目標	大項目	大項目設定の理由	番号	小項目	単位	値			市民活動推進課等事業主体による評価及び特記事項	市民活動推進委員会の評価		
						24年度	25年度	26年度		目標の達成状況の評価	事業の実施状況評価	
基本施策1: 市民活動の裾野の拡大 【施策の目標】市民活動に対する関心を高める／市民活動への参加の多様性を深める／市民活動の幅を広げ多様な活動展開へつなげる	オ) フェイスブック閲覧状況	市民活動関連情報を告知する「フェイスブック」の閲覧状況により、情報がどの程度市民に届き、関心を持たれているかの指標とする	1	市民活動かわら版「いいね」数		0	122	211	平成25年度事業開始のため、平成24年度の値は「0」となっている	※主に小項目番号1～2の値をもとに記入してください	※市のFB等活用状況全般について記入してください	
			2	プレイスFB「いいね」数		0	224	633				
	カ) 市民活動促進事業の到達度・効果	※大項目の「ア～キ」「新」は、これまでの進捗管理の項目に対応。	当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化にどの程度意義があったのかどうかの指標とする	3	参加者数	人	550	345	345	平成24年度の定員充足率が高いのは、カフェ形式の事業実施による／平成24年度は、講座事業は5割程度の参加ものもあり事業間の差が大きい	※主に小項目番号6の値をもとに記入してください	※主に小項目番号3～5をもとに記入してください
				4	(事業数)		8	5	4			
				5	定員充足率	%	165.4	31.3	51.9			
				6	満足度・お役立ち度	%	67.5	84.8	81.4			
	キ) 武蔵野プレイス市民活動支援事業の到達度・効果		当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化にどの程度意義があったのかどうかの指標とする	7	参加者数	人・団体	229	429	544	事業数の増加に伴い、参加者数も増加している／定員充足率は順調に増加している／8割以上の参加者が満足している	※主に小項目番号10の値をもとに記入してください	※主に小項目番号7～9をもとに記入してください
				8	(事業数)		12	21	22			
				9	定員充足率	%	53.4	63.4	73.7			
				10	満足度・お役立ち度	%	81.0	84.0	86.7			
	新) ボランティアセンター武蔵野事業実施状況		当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化につながっているのかの指標とする	11	参加者数	人・団体					※ボラセン事業による市民への影響等について記入してください	※主に小項目番号11～12をもとに記入してください
				12	(事業数)				15			
	新) ボランティアセンター武蔵野活動状況		ボランティアセンター武蔵野におけるボランティア登録等の状況により、市民がどの程度関心を持ちボランティア等の活動をしているかの指標とする	13	活動会員登録数(個人)	人					※主に小項目番号13～15の値をもとに記入してください	※ボラセン事業全般について記入してください
				14	活動会員登録数(団体)	団体						
				15	ボランティア依頼受付件数	件						
基本施策2: 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実 【施策の目標】活動の活性化と団体の自律・自立／市民活動を進める中で発生する様々な課題解決を支援／団体の活動意欲や実践力の向上、組織の安定化／団体の相互交流による活動の活性化を促す	イ) 武蔵野プレイス市民活動フロア利用状況	市の市民活動の拠点たる同フロアの利用状況を把握することで、市民活動団体の活動状況や活動が活性化したかの指標とする	16	登録市民活動団体数	団体	270	326	368	平成22年度の市民協働サロン登録団体数は335	※主に小項目番号16～22の値をもとに記入してください	※武蔵野プレイス事業全般について記入してください	
			17	新規登録団体(内数)	団体	61	56	42				
			18	相談件数	件	83	32	29				
			19	フロア利用者数	団体	808	925	1,038				
			20	ワークラウンジポスター掲示件数	件		258	336				
			21	チラシ設置件数	件		316	401				
			22	貸出施設平均利用率	%	65.3	69.2	69.0				
	オ) フェイスブック閲覧状況【再掲】	市民活動関連情報を告知する「フェイスブック」の閲覧状況により、情報がどの程度市民に届き、関心を持たれているかの指標とする								※主に小項目番号1～2の値をもとに記入してください	※市のFB等活用状況全般について記入してください	

市民活動促進基本計画 計画目標の達成状況評価表(案)

該当する基本施策及び目標	大項目	大項目設定の理由	番号	小項目	単位	値			市民活動推進課等事業主体による評価及び特記事項	市民活動推進委員会の評価	
						24年度	25年度	26年度		目標の達成状況の評価	事業の実施状況評価
基本施策2:市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実 【施策の目標】活動の活性化と団体の自律・自立／市民活動を進める中で発生する様々な課題解決を支援／団体の活動意欲や実践力の向上、組織の安定化／団体の相互交流による活動の活性化を促す	か)市民活動促進事業の到達度・効果【再掲】	当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化にどの程度意義があったのかどうかの指標とする								※主に小項目番号6の値をもとに記入してください	※主に小項目番号3～5をもとに記入してください
	キ)武蔵野プレイス市民活動支援事業の到達度・効果【再掲】	当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化にどの程度意義があったのかどうかの指標とする								※主に小項目番号10の値をもとに記入してください	※主に小項目番号7～9をもとに記入してください
	ウ)NPO法人数	市内に主たる事務所を置くNPO法人数により、市民活動が活性化したかどうか、また団体の自立が進んだかどうかの指標とする	23	市内に主たる事務所を置く法人数	法人	88	94	97		※主に小項目番号23～24の値をもとに記入してください	※市内のNPO法人の活動全般について記入してください
			24	市内に主たる事務所を置く認定NPO法人数(内数)	法人	1	1	5			
	エ)武蔵野市NPO補助金事業実施状況	市が補助金を交付した事業が、どの程度市民に関心を持たれ、法人の公益性を発揮できたのかの指標とする	25	補助対象事業	事業	16	15	14	平成24年度の受益者数が多いのは、補助対象とした広報誌発行事業において「印刷物発行数＝受益者数」としたことによる／平成25・26年度補助対象事業には、広報誌発行事業はない	※主に小項目番号25～28をもとに記入してください	※NPO法人に対する市の補助・助成制度全般について記入してください
			26	一般向け事業	事業	14	12	12			
			27	受益者数	人	13,553	2,317	2,322			
			28	(申請事業)	事業	17	18	16			
	新)武蔵野市民社会福祉協議会ボランティア・地域活動助成事業実施状況	市民社会福祉協議会による支援が、どの程度団体活動の活性化につながったのかということの指標とする	29	補助対象事業	事業	34	35	39		※主に小項目番号29～32をもとに記入してください	※市民社協登録団体の活動全般について記入してください
			30	一般向け事業	事業	20	22	27			
		31	会員向け事業(当事者団体の事業)	事業	14	13	12				
		32	(申請事業)	事業							
基本施策3:市民活動の場の活用促進 【施策の目標】多様な自由な市民活動を「場所」という側面からサポート	新)コミュニティセンターの利用状況	コミセンの利用状況を把握することで、コミセンという地域資源の活用状況や地域における自主的な活動が活性化したのかの指標とする	33	17コミセン貸出施設平均利用率	%				北ホールは除く	※主に小項目番号33をもとに記入してください	※コミセン事業全般について記入してください
	イ)武蔵野プレイス市民活動フロア利用状況【再掲】	市の市民活動の拠点たる同フロアの利用状況を把握することで、市民活動団体の活動状況や活動が活性化したかの指標とする								※主に小項目番号16～22の値をもとに記入してください	※武蔵野プレイス事業全般について記入してください
	キ)武蔵野プレイス市民活動支援事業の到達度・効果【再掲】	当該事業がどの程度市民に関心を持たれ、市民活動の活性化にどの程度意義があったのかどうかの指標とする								※主に小項目番号10の値をもとに記入してください	※主に小項目番号7～9をもとに記入してください
基本施策4:課題解決のための「連携と協働」の推進 【施策の目標】多様な取り組みの担い手による連携と協働を推進／協働のルールの明確化と職員の理解促進	ア)市と外部団体等の協働等の実施状況	市の実施事業に外部機関・団体がどの程度関与しているか、外部団体等が求める側面支援に対しどの程度市が対応しているかを把握することで、多様な担い手と連携・協働ができたかどうかの指標とする	34	協働等の実施部署	課	24	24	26	100程度の協働等の事業を実施し、補助金の交付や人的支援、恒例イベントを実行委員会形式で実施するなど多様な形態がある／事業の実施形態は、「委託」と「補助・助成」で全体の7割を超えている／「子どもの健全育成」「保健・医療・福祉の増進」「環境保全」「学術・文化・芸術・スポーツの振興」の事業分野で全体の6割を超えている／新規事業、従来の事業を市民活動団体等と実施したもの、活動団体や個人を育成しようとする事業もある／以前から同じ方法で実施している事業でも、平成26年度分調査で初めて回答された事業が5事業ある。そのため、事業数の増が協働の進展であるとは言い切れない	※主に小項目番号36～39の値をもとに記入してください	※主に小項目番号34～37の値をもとに記入してください
		35	事業実施数	事業	98	94	105				
		36	協働等の相手(延べ)	団体	274	284	314				
		37	新規協働等の相手(内数)	団体	41	45	45				
		37	市及び市財援助団体以外の主催事業の市報記事数	件							
		39	市の後援名義の使用事業数	件	108	125	124				

※市民活動推進委員会による評価は次のとおり

【目標の達成状況の評価】行政等の行ったことから生じた、市民・市民活動団体等の動き(市民・市民活動団体等への効果)に対する評価

【事業の実施状況評価】行政等の動き、どれだけ事業を実施したかに対する評価